

様々な「審議会」開催されます。傍聴にでかけましょう

市政に市民の意見を反映させることを目的として、さまざまな「審議会」等が開催されています。

ほとんどの審議会に公募枠が設けられており、市民の多様な声が一定反映できるしくみとなっていますが、「実際には市の方針にお墨付きを与えているだけでは？」との厳しい意見もあります。

そうならないためにも市民が積極的に審議会を傍聴し、ということが話されているのに関心をもっていくこと、また、周りの人に問題点を発信したり、審議委員に意見を届けることなどが必要ではないでしょうか。

予定されている審議会のうち、いくつかを紹介します。

保育料審議会

市内の認可保育園の保育料金を審議しています。子育て家庭でも暮らしが大変な方がふえるもと、前回の会議では「値上げを前提に議論していく」ことなどが確認されています。

< 次回日程 > 11月4日(水) 午後2時～
市役所4階・大会議室

学区審議会

小中一貫教育校の実施にむけて、学区を変更する必要があることから開催されます。2,3中と富士見小の学区について審議することになっています。

< 次回日程 > 10月30日(金) 午後7時
30分～ 市役所4階・大会議室

日程、会場は変更する場合があります。

審議会はそれぞれ傍聴人数の定員が決められており、それを越えた場合は傍聴できない場合もあります。

この他にも様々な審議会等が開催されます。詳しくは、市のホームページの一番下にある「審議会・懇話会等開催日程一覧」「審議会・懇話会等会議録一覧」でご確認ください。

「小中一貫教育市民集会」が開催されます

20日、教育委員会から「羽村市小中一貫教育基本計画(素案)」が出されました。

今後は、意見聴取(パブリック・コメント)の実施、各中学校区ごとの説明会などが予定されており、より良い羽村の教育をつくるために、市民が声をあげていくことが必要になっています。

こうしたもと、「小中一貫で、いったいどう変わるの?」との疑問の声に応えた集会在計画されています。すでに小中一貫教育を実施している三鷹市からの報告も予定されています。主催は、羽村の教育を考える会(準備会)。

小中一貫教育市民集会

11月6日(金) 午後7時～
羽村市産業福祉センター・iホール
(図書館の右隣の建物です)

小中一貫教育実施計画(素案)



「横田基地の撤去を求める会」総会ひらかれる

去る10月4日、羽村市コミュニティ・センターにおいて、「横田基地の撤去を求める西多



摩の会」が第2回総会を開催し、約90名が参加しました。

最初に、窪田事務局長から結成以来1年間の活動報告がなされ、会報の発行、月1回の横田基地に面した公園での座り込み行動、横田基地にまつわる様々な交渉や情報開示請求などのとりくみが紹介されました。

また、向こう1年間の活動方針として、横田基地への自衛隊航空総司令部の移転に反対の世論をつくる運動、核密約問題で疑惑を解明する運動などが提起され、拍手で確認されました。

第2部では、ジャーナリストの吉田敏浩氏が「戦争の加害者にも被害者にもならないために」と題して講演。

日米軍事一体化がすすんでいる状況を告発し、「日本が『海外戦争をして戦争のできる国』に変わってしまうかどうか、それを食い止めることができるかどうか」という問題を考えるとき、大事なことは、戦争の加害者になることに心の痛みを感じることができるかどうかではないか」と述べました。

会場では、新しく会員となる人があいつぎ、「政権が交代したもつで、米軍基地を撤去させる運動も力の発揮しどき」との声が聞かれました。

スポーツセンターで親子工作教室

去る18日、スポーツセンターで親子工作教室が開催され、400人を超える親子が、本棚や道具箱づくりなどに挑戦しました。会場には金槌やのこぎりの音が響き、真剣な表情で作業がすすみます。「親子が力合わせる機会は大切ですね」などの感想が聞かれました。



無料法律相談のお知らせ

11月9日(火) 午前10時からです。

事前に予約が必要です。お気軽にご連絡ください。

- ・中原まさゆき 554-1163
- ・市川英子 554-1140
- ・鈴木たくや 080-1058-9450